

さ ぶ り め ん と



形成外科と美容外科(前編)



《形成外科とは?》

形成外科 浅田 裕司

形成外科と聞いてどんな診療内容を思い浮かべられるでしょうか?

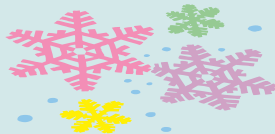
整形外科とどう違うの?これはよく言われる質問です。整形外科は骨や筋肉の病気や怪我を扱いますが、形成外科はもっと体の表面の病気や怪我を扱います。わかりやすい表現としては皮膚表面外科が近そうですが、顔の骨折などは形成外科で治療を行います。体表面の病気や異常、形態の異常を主に手術により治療します。

また形成外科は美容外科とも関係が深く、美容外科は形成外科の一分野とされています。最近は多くの大学の形成外科講座で美容外科も扱うようになってきました。ちなみに一般的によく使われる美容整形という言葉は医療法上では使われず、美容外科という言葉が使われます。

美容外科で行う手術も内容的にはほとんど形成外科での手術と同じで、手術を行う対象が違うという程度です。形成外科は病気や変形などの異常を正常の状態に戻し、美容外科は正常の範囲にあるものをより美しく見えるように変えることを目的とします。

眼瞼下垂や腋臭症、体表面の変形など美容外科での自費診療と思われる疾患でも、実際は保険適応となっているものも多くあります。そこでこれら美容外科で治療が行われるように思われがちな保険適応の疾患に関しいくつか説明してみましょう。

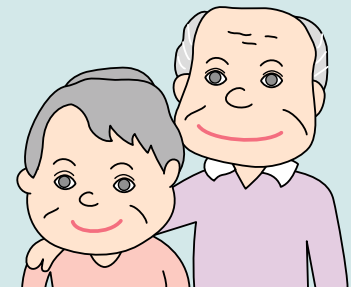
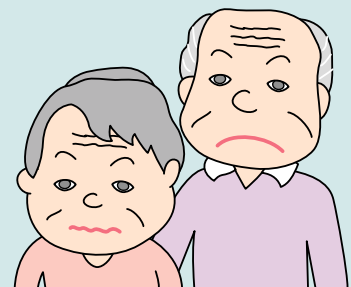
《眼瞼下垂って?》



ある程度年齢を重ねると、眼瞼(まぶた)は多かれ少なかれ下垂してきます。眼瞼が下がってくると視野が狭くなり本やテレビを見るのが辛くなってきたりします。特に上のほうが見えにくくなってきますので、車の運転をされる方では交差点の近くで信号を確認しづらくなり、それとは気づかず赤信号で交差点に入ってしまうことがあり危険です。

瞼が開きにくいとそれをカバーするために眉毛を引き上げることになり、額のしわが増える原因のひとつとなります。無意識のうちに顎を持ち上げるようにもなり、そういったことが重なって神経が余分に緊張した状態となり、肩こりや頭痛などが起こることもあります。目に光があまり入ってこない世界も暗く感じ気分が落ち込むこともあるようです。こういった症状も眼瞼下垂を治療することで改善される場合があります。

一重瞼の方やコンタクトレンズを常用されている方などでは、比較的若くから起こることもあります。治療としては比較的軽度で一重瞼の場合は二重瞼にするだけで改善することもあります。多くの場合には瞼を引き上げるための筋肉につながる膜を引き出して固定する手術を行います。1週間程度は瞼が腫れますので、ある程度時間の余裕をとっておいてもらったほうが良いでしょう。



★第4回 消化器病教室★

日時:平成21年1月27日(水) 15時~17時

場所:管理棟2階 会議室C・D

内容:・自己免疫性肝炎について
・原発性胆汁性肝硬変の治療について

※参加は自由にして頂けます。予約不要!!

理念 良質な医療を働く人々に、地域の人々に、そして世界の人々のために

- 基本方針
- ・私たちは、働く人々の健康確保のための医療活動、即ち「勤労者医療」の中核的役割を担ってこれを推進します。
 - ・私たちは、急性期医療機関として良質で安全・高度な医療の提供を行うとともに、地域の諸機関と連携して地域医療の充実を図り「地域に生き、社会に応える病院」としての発展を目指します。
 - ・私たちは、患者様の権利を尊重し、医療の質の向上ならびに患者サービスの充実に励み、「信頼され、親しまれる病院」作りを心がけます。
 - ・私たちは、「開かれた皆様の病院」として、ボランティアや有志の方々の病院運営への参加・協力を歓迎します。
 - ・私たちは、病院使命の効果的な実現のために「働き甲斐のある職場」作りを行い、運営の効率化と経営の合理化を推進します。